

とでしょう。(もちろん、ぶらり一人旅なんていうものであれば充実感満点ですが…。) イベントが行われている最中でも、あらかじめ準備をしていれば軌道修正がスムーズに行われますが、準備不足の上での軌道修正はバタバタとしたその場しのぎになります。

子どもたちの生活の中にはイベントがたくさんあります。「今度〇〇がある」ということを認識していてもそのイベントまでに定規をあてることはありません。大人である私も同じことが言えます。どうしても短い定規で事足りて、事足りてしまうからなかなか長い定規を使おうとしない。なんかもったいない気がしてしまいます。

小春学院での業務以外に私がやっている仕事について言えば、忙しい時期は2月～7月末までです。その期間中はどうしてもバタバタとしてしまいます。しかし、今回この原稿を書きながら、2月～3月までに準備をしっかりとしておくことで、忙しい時期も乗り切れないかと気持ちを改めてみました。

「忙」という字は「おちついた心がない」という意味を示しています(新漢語林より)。おちついた心を失わないようにするためには、イベントに向けて長い定規をあて、方向性を示しておかないといけないでしょう。

ということで、2月～3月という時期を有意義に過ごすために大切なことを、お子様と一緒に考えてみるといいのではないのでしょうか。私もしっかり考えます。

文責：めがね先生

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★2月のおめでとう★☆☆★☆☆★☆☆★

1年1年の成長を自分は分からなくても人は見えています。お誕生日おめでとうございます。

☆冬野くん ☆春菜さん ☆雅司くん

お誕生日は子育てをしてくださるお父さん、お母さんへの感謝の日でもあります。お子さんの成長を喜ぶとともに、感謝申し上げます。

★★2月の予定★★

①公立高校受験出願です

3月2日(金)に実施されます埼玉県効率高等学校入学者選抜学力検査の出願が行われます。

2月20日(月)、21日(火) 入学願書、調査書、学習の記録等一覧等の提出

2月22日(水)、23日(木)、27日(月) 志願先変更期間

ゆとりをもって準備をしておきましょう。(受験費用は埼玉県収入証紙を願書に添付することになります。春日部市役所でお求めください。)

②中学生学カテスト

今月の学カテスト受験最終日は2月25日(土)です。2月の学習内容の復習、事前課題プリントの確認をしっかりと行ってテストに挑戦しましょう。

③小学生学カテスト

2月5日(日)に小学生対象学カテストを実施いたします。中学受験生は国・算・理・社の4教科、公立中学進学生は国・算の2教科を受験します。事前の学習教材もありますので、しっかりテスト勉強を進めていきましょう。詳しくは別紙『小学生12月号・2月号「学カテスト」のご案内』をご覧ください。

④2月11日(土・祝)授業について

小春学院カレンダー通り、授業日となります。ご予定に応じて、調整もできますので、あらかじめ担当までご連絡ください。

★★今月の「この一問！」★★

今月は算数（数学）の問題です。チャレンジしてみてください。答えは教室で！

1 1 から 9 までの数字が 1 つずつ書かれた 9 枚のカードから 5 枚のカードを同時に取り出します。

このようなカードの取り出し方は（ 1 ）通りです。

取り出した 5 枚のカードの中に 5 と書かれたカードがある取り出し方は（ 2 ）通りです。

5 と書かれたカードがない取り出し方は（ 3 ）通りです。

2 1 円硬貨と 5 円硬貨と 10 円硬貨と 50 円硬貨がそれぞれたくさんあります。これらから必要な枚数だけ取り出して、合計金額を 10 円にする方法は 4 通り、合計金額を 50 円にする方法は（ 4 ）通り、合計金額を 100 円にする方法は（ 5 ）通りあります。

【ポイント】ひたすら書き出してみてもはどうでしょうか。

（ある程度書き出していければ何かが見えてきます。）

（一言：1 と 2 ではどちらが難しかったでしょうか？）

★★大人のための「この一冊！」★★

長谷部誠「心を整える。-勝利をたくり寄せるための 56 の習慣」(冬幻舎)

この書籍、実は私が購入したものではありません。巷では話題になっていた本ではあったのですが、どうしても手が出ませんでした。2011 年度書店新風賞*を受賞しましたが、それでも手が出ませんでした。

*書店新風賞はその年度に出版界に新風を吹き込み、書店の売り場活性化に貢献した出版物と発行者を顕彰するために、昭和 43 年 1 月に設けられました。

そんな本作品がなぜ私の手元にあるのか…。生徒からの借り物です。中一の生徒が読んだというのでどんな話だったのかを聞いてみると、「??」という回答でしたので、私の方で読むことにしました。

読んでみると、読みやすいということもあってどんどん読み進められて、内容の多くにもうなづけられたことから、これはこのコーナーで紹介しないわけにはいかないということで今回はこの作品にしました。

まず、長谷部優さんはサッカー選手です。私はサッカーのことはあまりわかりませんが、どうも 2010 年のワールドカップでゲームキャプテン、2011 年のアジアカップではキャプテンの役目を担っていた有名な方ようです。（サッカーのことが本当にわかりませんので、こんな書き方ですみません。）となると、考えないといけないことは、自らのことを書いた書物を読むときにはどのような読み方をしないといけないのかということです。今回、この作品を読んでいて感じたことは、もし児童・生徒が読書感想文の素材として本書を読んではしまったら、多くの児童・生徒たちは本来読みとるべき部分をあやまってしまうかなということです。読みやすいが故に、読みやすい部分が大事であるとして、そこを感想文のネタに使ってしまう。本書のような人の経験を裏づけにして話を展開している場合、経験部分を感想文に示して、それについての意見・印象・感情を簡潔に述べてしまうのではないのかと思いました。それをしてしまうと、たぶん文章が続かなくなります。となると、筆者の経験部分などの具体的な内容のところは差し引いて、筆者が考えたこと、筆者が言い切っているところについての自分の意見・印象・感情を述べないといけません。

ということで、その部分を省いて、私が印象に残った箇所の一部を抜いてみましょう。

- ・きれいになった部屋を見たら、誰だって心が落ち着く。僕だって心が落ち着く。僕は心がモヤモヤしたときこそ、身体を動かして整理整頓をしている。心の掃除もかねて。
- ・答えがないようなことを延々と考えすぎて、迷いが生まれているときにどう切り替えるか。そういうときに僕は身近なところにいる「頑張っている人」を目にするようにしている。…僕が気がつかないだけで、日々の生活は頑張っている人々の姿であふれているのだと思う。自分のことでいっぱいになりたらず、そういう姿に気がつける自分でありたい。
- ・さぼっていたら、運なんて来るわけがない。それにただがおしゃらに頑張っても運が来るとは限らない。普段からやるべきことに取り組み、万全の準備をしていれば、運が巡ってきたときにつかおることができる。多分、運は誰にでもやってきていて、それを活かせるか、活かせないかは、それぞれの問題なのだ。

大役を果たす人は一発逆転的な発想は持たない。日常を大切にしている。そんな印象を受けます。サブタイトルにあるように 56 の事柄が記されていますので、一度ご覧になって、気に入った文を抜書きしてみるのもいいかもしれません。

【編集後記】

ご購入ありがとうございます。編集後記といっても結局わたしのつぶやきだけを書いて、あとはみなさんに丸投げしている感が否めませんので、どうしたらよいかを考えました。これはいかがでしょうか。今回は皆さんに宿題を出してみたいと思います。といっても難しいものではありません。みなさんのこれまでのご経験とお考えを伺えればと思っています。

ということで、今回のお題です。「今まで読んできた中で印象に残っている著作とその著作へのコメント」を教えてください。

【大人のための「この一冊！」】のネタ作りかと思われそうですが、そうではなく、皆さんがどんな本を読まれているのかと、ちょっと知りたいなと思いました。本からはいろいろな考えや知恵を得ることができます。皆さんからそのあたりのことを伺って、整理してみようかなと思います。ご協力お願いいたします。

ペンネーム

この応援メッセージをブログに掲載してもよろしいでしょうか？ はい いいえ
ご協力ありがとうございました。